



全国保健所長会だより

「地域保健の充実強化に関する委員会」は、全国保健所長会に設置された3つの委員会の一つとして、地域保健行政を取り巻く諸課題について調査・検討を行い、保健所機能の充実・強化に向けた提言を行うことを目的に活動しています。

保健所には、地域の健康課題を把握し、住民や関係機関と連携しながら、科学的根拠に基づく保健施策を企画・実施・評価する役割が求められています。本委員会では、その役割を支えるため、地域保健医療体制や関連制度の在り方について継続的に検討を行っています。

本委員会は、平成17(2005)年の国の「地域保健対策検討会中間報告」を契機として設置されました。同報告では、都道府県が地域の健康課題を分析し、優先順位を踏まえた地域保健計画を策定するとともに

3. 本委員会と関連する地域保健総合推進事業研究班の概要

研究班からの報告を踏まえ、地域医療構想、精神保健医療福祉、グローバル化への対応、中核市等保健所の機能強化など、地域保健行政における重要課題について議論を継続しています。さらに、精神保健福祉法に基づく措置入院制度や、地域保健におけるヘルスプロモーションの推進についても検討を行っています。

本委員会と関連する地域保健総合推進事業の研究班の取り組みについては、別の号でおのおの詳しく紹介されると思いますが、ここに簡単に概要を記しておきます。

1) 地域医療構想における「治し支える医療」提供体制の実現に向けた保健所の役割についての研究(分担事業者 鳥取県倉吉保健所 小倉加恵子)

2040年を見据えた「新たな地域医療構想」では「治し支える医療」の構築が重要な課題となっています。本研究班では、全国調査と職員による地域での実践を通じて、地域医療構想の推進における保健所の役割・

地域保健の充実強化に関する委員会の活動報告

地域保健の充実強化に関する委員会委員長／高知県須崎福祉保健所 所長・保健監(保健所長) 福永 一郎

に、人材育成や調査研究など地域保健の基盤整備を推進する必要性が示されました。本委員会は、こうした考え方を踏まえ、地域保健対策の推進と、それを担う公衆衛生人材の育成・確保を重要な課題として活動してきました。

その後、地域包括ケアシステムの推進、医療計画・地域医療構想、健康増進、がん対策、精神保健福祉、母子保健・歯科保健など、地域保健を取り巻く環境は大きく変化しています。本委員会では、こうした変化を踏まえ、保健医療制度や保健所機能に関する課題について検討を重ね、国への提言や資料作成等を通じて地域保健の発展に取り組んできました。

なお、健康危機管理については「健康危機管理に関する委員会」、公衆衛生医師等の確保・育成については「公衆衛生医師の確保と育成に関する

機能を検討しています。今後は、医療介護・行政等の関係者間の連携や合意形成を支える実践知を体系化し、各地域で活用できる資材として取りまとめる予定です。

2) 精神保健医療福祉における「入院医療中心から地域生活中心への取り組みにおける保健所の対応に関する研究(分担事業者 岐阜県可茂保健所 兼 関保健所 稲葉静代)

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの推進に向け、保健所の役割や市町村支援、庁内連携の在り方について検討しています。好事例の共有や人材育成を通じ、地域で生活する精神障害者を支える保健行政の推進を目指しています。令和8年度は、新たな地域医療構想における精神医療の対応について検討を重ねています。

3) グローバル化時代における保健所の機能強化と国際社会への貢献に関する研究(分担事業者 兵庫県伊丹保健所(当時) 須藤章／8年度 宮崎市保健所 門内 一郎)

社会のグローバル化に伴い、保健所には外国人住民・外国人事業者

る委員会」が担当しており、本委員会では、これら以外の地域保健医療体制や制度の充実・強化に関する課題を中心に検討しています。現在の委員の任期は令和7年4月から9年3月までであり、7年度から8年度までの2年間、文末の表に示す委員構成で活動しています。

1. 令和7年度の委員会活動

7年度は、地域保健医療福祉を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、今後の保健所の役割や機能強化について検討を行いました。全国保健所長会の活動、調査、意見提示等に関する会長諮問事項について協議するとともに、各地域における保健医療福祉の取り組みや課題について情報共有・意見交換を行いました。

また「保健所行政の施策及び予算に関する要望書」の作成に際しては、

への対応など、新たな課題への対応力が求められています。本研究班では、国際保健分野で得られた知見を地域保健行政へ還元する人材育成や、外国人対応に活用できる教材作成等について検討しています。

4) 中核市等保健所の特徴を踏まえた地域保健事業の推進についての研究(分担事業者 川口市保健所 岡本浩二)

中核市等保健所が持つ、市の本庁機能や関係部局との連携のしやすさ、住民との距離の近さといった特徴を踏まえ、地域保健事業を効果的に推進する方策を検討しています。保健所長間の情報共有・相互支援、好事例の収集・展開、都道府県との連携強化を通じた機能向上を目指しています。

4. おわりに

地域保健を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化、健康危機への備え、グローバル化の進展などにより大きく変化し、保健所に求められる役割はますます多様化・高度化しています。また、2040年を見据えた新たな地域医療構想の実現に向けては、

涉外担当理事と連携し、地域保健の現場が抱える課題や必要な施策について検討を行い、要望内容の整理等を支援しました。

さらに、本員会と関連する地域保健総合推進事業の研究班から、研究の進捗や成果について情報提供を受け、本委員会活動に活用しました。具体的には、「医療構想と包括ケアの推進における保健所の役割」精神保健医療福祉における「入院医療中心から地域生活中心への取り組み」グローバル化時代における保健所の機能強化」中核市等保健所の特徴を踏まえた地域保健事業の推進」など、現在の地域保健が直面する課題について議論を深めました。

2. 令和8年度の委員会活動

8年度も、地域保健医療福祉を取り巻く課題や、今後の保健所に求められる役割・機能について検討を進めています。各地域の取り組みや課題を共有しながら、全国保健所長会として発信すべき課題を整理するとともに、施策や予算に関する要望について関係理事と連携しながら検討を進めます。

また、地域保健総合推進事業の

医療・保健・福祉が連携し、地域の実情に応じた持続可能な地域保健医療体制を構築していくことが重要です。

本委員会では、こうした社会情勢や制度の変化を踏まえ、地域保健医療体制の充実・強化に向けた調査・検討を進めています。今後も、保健所の現場に根差した課題を整理し、その成果を共有することで、2040年を見据えた地域保健医療体制の発展に寄与していきたいと考えています。

表 令和7年度～8年度地域保健の充実強化に関する委員会委員一覧

役職名	氏 名	所属保健所名
顧問	石原 美千代(全国保健所長会副会長)	新都区保健所
委員長	福永 一郎	高知県須崎福祉保健所
副委員長	藤川 愛(令和8年4月～)	高松市保健所
〃	山口 文佳	長崎県五島保健所 兼 上五島保健所
委員	森 昭久(～令和8年3月)	北海道帯広保健所(当時)
〃	儀同 咲千江(令和8年4月～)	北海道室蘭保健所
〃	仲本 光一	岩手県奥央保健所
〃	長瀬 有紀(～令和8年3月)	長野県松本保健所 兼 大町保健所(当時)
〃	田中 良明(令和8年4月～)	埼玉県加須保健所
〃	稲葉 静代	岐阜県可茂保健所 兼 関保健所
〃	須藤 章	兵庫県洲本保健所
〃	小倉 加恵子	鳥取県倉吉保健所
〃	上田 久仁子	広島市保健所
〃	藤川 愛(～令和8年3月)	高松市保健所
〃	植原 昭治	江戸川区江戸川保健所
〃	岡本 浩二	川口市保健所
〃	門内 一郎(令和8年4月～)	宮崎市保健所

(令和8年8月現在)